

一般財団法人 Ruby アソシエーション 2016年度 第1回通常理事会議事録

開催日時 2016年6月10日(金) 14:00~15:00
開催場所 松江：オープンソースラボ (松江市朝日町478番地18 松江テルサ別館2階)
東京：笹田理事任意の場所
福岡：田中理事任意の場所
理事総数6名
出席理事5名 松江：松本行弘(理事長)、井上浩(副理事長)、山根泉(理事)
東京：笹田耕一(理事)
福岡：田中和明(理事)
出席監事 今岡正一
事務局：前田修吾(事務局長)、横田早百合(事務局員)、徳永翔二(事務局員)、江角俊秀(事務局員)
オブザーバー：佐藤文昭(まつえ産業支援センター)、渡部徹(まつえ産業支援センター)、
杉原健司(支援スタッフ)

定款第39条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数6名中、定款第40条第1項及び第2項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事5名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。冒頭、松本理事長より今期の有意義な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があった。

■審議事項

審議事項1：「2015年度事業報告書案」

定款第7条第1項に基づき(審議事項2以降も同様)、議長の指名により徳永事務局員が2015年度事業報告書の説明を行った。

採決の結果、原案どおり可決した。

審議事項2：「2015年度決算案」

議長の指名により横田事務局員が2015年度決算案の説明を行った。また、説明後、今岡監事が監査の結果、適正に会計処理がなされていることを報告した。

採決の結果、原案どおり可決した。これにより本決算案をもって理事会決定とし評議員会に上程することとなった。

■協議事項、その他

協議事項1：「臨時評議員会の運営方針について」

議長の指名により徳永事務局員が、臨時評議員会の運営方針について説明を行った。

- ・毎年度実施している「臨時評議員会」を別の会議体(名称未定)として実施する。
- ・ガバナンスをより明確にし、有識者やオブザーバーのご意見も広くお聞きする場とする。

議場より特段の意見、質問はなかった。

協議事項2：「その他助成について」

議長の指名により前田事務局長が、その他助成について説明を行った。

- ・公募型開発プロジェクト以外のその他助成について、Ruby アソシエーションのウェブサイトを受付窓口を設け公募を実施する。

議場からは対象者の選定基準についてご意見があったが、これについては最初から厳密な基準を定めることは（漏れが出てくる可能性があり）難しいので、実際に公募を開始して理事会で判断するなかで基準の調整を行うこととなった。

その他、笹田理事から東京 Ruby 会議 11 の報告（開催会場に Ruby アソシエーションのポスターを掲載）と以下の提案があった。

1) 東京 Ruby 会議 11 の余剰金の取り扱いについて

余剰金を Ruby 開発のための資金として利用するための取り扱いについて。

→笹田理事と事務局で今後の事務処理等について調整を行う。

2) イベントで利用する備品の管理について

Ruby に関するコミュニティイベント開催の際に必要な備品は、各イベントがそれぞれ調達するようになっているが、この備品の貸し出し・管理業務（物品の管理、発送、引取等）を Ruby アソシエーションが行うことはできないか。

→コミュニティへの貢献のために、事務局側で積極的に検討を行う。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第 43 条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2016 年 6 月 10 日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人 Ruby アソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事 今岡 正一

